

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和元年7月25日（木）

2 確認箇所

- ・5/6号超高压開閉所
- ・T.P. 8.5m盤（2号機タービン建屋南側、1～4号機タービン建屋東側）

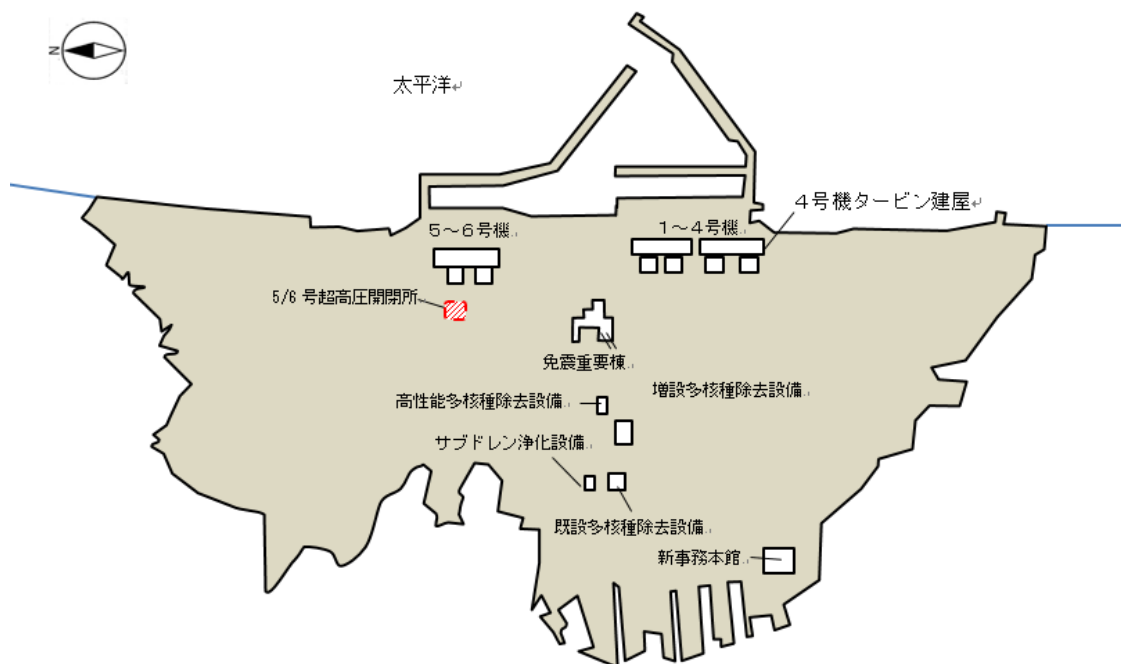
3 確認項目

- (1) 5/6号超高压開閉所で発生した火災現場の状況
- (2) 2号機海水配管トレンチ建屋接続部北側の削孔作業の準備状況
- (3) 1～4号機タービン建屋東側構内整備工事の進捗状況

4 確認結果の概要

- (1) 5/6号超高压開閉所で発生した火災現場の状況について

7月25日午前9時35分頃、5/6号超高压開閉所の双葉線1号の雷に対する保護装置（以下、「保護装置」という。）から黒煙が発生したため、現場の状況を確認した。5/6号超高压開閉所の場所は図1のとおりである。

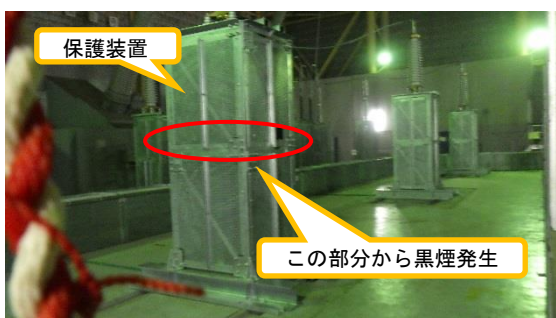


(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図

- ・現場確認時は、関係者による状況確認が行われており、保護装置からの発煙は止まっていた。（写真1）
- ・保護装置の周辺に可燃物や放射性物質はなく、火災の拡大や放射性物質の漏えいのおそれがないことを確認した。
- ・なお、東京電力は保護装置を取り外し、接地装置を取り付けるなどの再発防止策を実施するとのことである。



（写真1－1）
現場の状況（10時13分頃撮影）
黒煙の発生は止まっていた



（写真1－2）
黒煙が発生した保護装置

（2）2号機海水配管トレンチ建屋接続部北側の削孔作業の準備状況について
2号機海水配管トレンチタービン建屋接続部における南側の溜まり水移送作業が行われ、現場を確認（6月26日）したが、その後トレンチ南側からの溜まり水移送作業は7月18日に完了した。

今後、トレンチ北側の溜まり水移送作業を実施するため、トレンチ北側の削孔作業が予定されていることから準備の状況を確認した。

- ・現場には削孔作業を行うための機械が設置されていた。なお、現場確認時は、作業は行われていなかった。（写真2）
- ・トレンチ南側からの溜まり水移送作業に使用されたホースが接続された状態であり、開口部上部は塞がれていた。（写真3）



(写真2)



(写真3)

開口部地下の南側（赤丸手前側）と北側（赤丸奥側）の2箇所を削孔し、溜まり水を移送することとしている。

南側は既に削孔済みであり、今後は北側を削孔する予定。

(3) 1～4号機タービン建屋東側構内整備工事の進捗状況について

前回（6月24日）に引き続き、T.P. 8.5m盤の整備に伴う既設建屋及び設備の撤去工事前の状況確認を行った。

- ・ 前回確認時には1・2号機新サービス建屋の解体は開始されていなかったが、今回解体作業が開始されていた。（写真4）
- ・ 建屋西側にある凍土壁関係の配管を保護するため、新たに屋根が設置されていた。（写真5）



(写真4-1)
6月24日撮影 (南西側から撮影)



(写真4-2)
7月25日撮影 (南西側から撮影)



(写真5-1)
北西側から撮影



(写真5-2)
写真5-1 赤丸部分拡大

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。